

当社グループは、平成16年度に3ヵ年の中期ビジョンとして4つのチャレンジ項目を掲げ、全社をあげて取り組んでまいりました。平成18年度は、この4つのチャレンジを仕上げる年になります。

4つのチャレンジ – 仕上げる年

(1) 既存ビジネスの徹底した体質強化

(2) 新しい事業を創り、育てる

(3) フォーメーションの革新

(4) マネジメントシステムの革新

■ 既存ビジネスの徹底した体質強化

既存のビジネスを徹底して強化するために、開発から販売までの全ての段階において品質の向上、コストの削減、スピードアップに取り組んでおります。



トヨタ生産方式を工場に導入し、生産革新運動を展開しています。



コンピュータ上で仮想的に試作を行うことで、設計から製造までにかかる期間、コストを大幅に削減しています。
(携帯電話の例)

■ 新しい事業を創り、育てる

海外市場では、ビジネス拡大を目指し、他社との提携や、お客様に体験していただく施設の開設など、新しい市場の開拓を進めております。

一方、国内では、中堅企業のお客様のニーズに合った製品、サービスを提供し、市場の拡張を行っております。



システム検証施設「プラットフォームソリューションセンター」を世界各地に開設しています。
(平成18年11月、大阪にも開設)

当社グループは、実際に人やものが動く現場におけるITを提供するビジネスの拡大に取り組んでおります。具体的には、企業活動における販売、開発、製造、調達、物流といった現場や、個人の社会生活における医療や介護、教育、娯楽といった様々な場面に、ITを活用した新しい製品、サービスの提供を推進しております。



手のひらの静脈で本人識別を行い、入退室を管理します。鍵を使わずに入退室できます。

例えば、手のひらの静脈を使って本人確認を行う装置を国内外の銀行のATM、オフィスやマンションの入退出管理などに展開し、最高水準のセキュリティを提供しております。また、食品や衣類といった製品にRFID*タグをつけ、産地や流通経路、在庫の状況などを確認できるシステムを提供することで、食の安全や、お買い物の利便性などを実現しております。

これらにより、お客様である企業の競争力を高め、より便利、快適、そして安心な社会の実現に寄与してまいります。



店頭の食品ごとにRFID*タグをつけ、食品の生産、流通履歴を管理します。

*RFID：ICを内蔵したカード状またはタグ状の媒体に、電波を用いてデータの書き込みまたは読み出しを行い、物の認識を行う仕組みのこと。

■ フォーメーションの革新／マネジメントシステムの革新

これらのチャレンジを実現するために、社内の体制や、経営管理システムを最適な形にする取り組みも行っております。

例えば、海外ビジネス拡大に向けて、地域ごとに異なる市場動向をきめ細かく把握し、迅速な対応を図るため、組織を再編し、主要地域ごとに権限を有する責任者を任命いたしました。

また、社内業務の流れをシンプルにし、きちんと目に見える形にすることで内部統制を強化しております。